

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023 年 2 月 15 日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌北 24 条校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	使用する机は移動させる机を前もってスタッフ間で打ち合わせている。	
	②	職員の配置数も適切である	5	0	小集団でも人数を考え定員を考えている。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性にむき、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	0	ブースごとに仕切られている。お子さんが活動する場所が理解できるように視覚支援を行っている。手洗い場なども写真を使い、どのようなか掲示している。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	定期的な掃除に加え、すぐ綺麗にできるようにテープ式の清掃具を取り入れている。個別ブースと共有スペースに分けている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	0	運営会議の実施し、共通理解が図られるようになっている。	スタッフに役割分担を行い、それぞれが業務に積極的に参加できるような工夫が必要。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	評価表の回収のお声がけが欠かされずに、回収率が上がるよう心がけた。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	毎年、HPに公開している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5		事業所全体の意識改革が必要
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	発達支援研究所の定例研修の参加。支援の兼ね合いを考えてスケジュール化する。	
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	定期的に行えるように、計画シートを作っている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	クラ・ゼミ共通のツールを使って行っている。	

援 の 提 供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0	ガイドラインを参考にしながら、計画立てを行っている。	スタッフは、ガイドラインを意識して見るように、ガイドラインを参考にしながら行うように声掛けを行っている。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	必ず個別支援計画書を意識して支援が行えるように記録と一緒にファイルしている。	一人一人、計画に基づいて支援できているか支援の内容を確認している。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	個別支援が多いが、他児の支援のいいところを参考にしている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	お子さんにも飽きか来ないよう、いろいろな教材を構成している。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成している	5	0	小集団の良さを発揮できるようなプログラムの立案を行っている。	小集団と個別の内容の明確化
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	朝礼を行い、その日に必要な共通理解事項の共有を行っている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	終礼を行い、短い時間であるが、必要に応じて支援の振り返りを行っている。また、保護者様の連絡事項についても触れている。	退室時間ぎりぎりまで、支援があるので支援会議などを実施し、ケースに対する共通理解を図る様になっている。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	記録ノートに名前を入力することで、記録の漏れを防いでいる。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	幼児さんの発達速度が速いので、4か月更新とし、担当者会議を開き、見直しを行っている。	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況が精通した最もふさわしい者が参画している	5	0		勤務体制にもよるので、なるべく事前に予定を立てられるようにしている。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	1	必要に応じて行っている。	
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			該当児童なし	
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			該当児童なし	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1		保護者様のニーズに応じて行うことで、お子さんを取り巻く環境整備が整っていくと考える。そのため保護者様の気持ちを尊重し行っている。

	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	必要なお子さんには保護者様への相談を行っている	ご希望しない保護者様もいらっしゃるので円滑に進められるように必ず承諾を得たり、情報共有の必要性を説明する機心かけ
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	定期的に地域支援コーディネーターさんがおいでなのでその時に相談事項をまとめて助言頂いている。	
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	5	コロナ禍なので慎重にならざる負えない	
	②9	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	5		勤務時間との兼ね合いで参加することが難しいが、参加については今後の課題。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	連絡帳を用いて状況把握に努めている。また、支援後必ず様子をお伝えする時間を設けている。	
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	0	5		専門的スキルを持つスタッフの育成に取り組む必要がある。柔軟に伝え家族支援ができる機会を設けていきたい。
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	契約時には必ず説明を行っている。	
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0	ガイドラインを参考に支援計画書を作成している。	
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	来室時必ずお子さんに変わりのないか、お聞きするようしている	単独面所のお子さんの保護者様には、支援計画説明時にお話を聞きし、心配事があつたらお声がけ出来るようお伝えしている。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4		コロナ禍の為、積極的な開催はできないが個別にお受けした相談については、それに応じた保護者様にお声がけさせていただき、保護者様同士がつながりあるよう心掛けている。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合には迅速かつ適切に対応している	5	0	即時対応できるようにしている。お声がけ出来るように、事務室の扉を開けたままにしている。	事前に相談事がある場合は、日程の調整を行い対応させていただいているが、申し入れがあった時は、即時対応できるようにしている。
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	小集団を行った後は、必ず通信を発行し、どんな様子だったのかを発信している。また、予定やお休み前にはHPを通して発信している。	
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	施設できるところに書類を管理している。	
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	視覚支援を重視している。外国籍の保護者様には具体物をお見せしている。	

	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5		保護者様へのご承諾が必要と考えられる為、容易に行うことは難しい。
非常時等の対応	④②	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0	札幌地区クラスで年間スケジュールを決めて計画的に行えるようになっている。避難場所については、事前に保護者様へ周知している。	
	④③	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	〃	
	④④	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握している	4	1	事前フェイスシートにご記入いただいている。	ご記入いただいているフェイスシートがどこにあるかスタッフへの認識を高めていきたい。
	④⑤	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされている	4	1	現在のところ指示書が必要なお子さんはいらっしゃらないが、そのような場合、保護者様や指示書に従って行きたい。	
	④⑥	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	冊子にして、保護者様が手に取って見ることが出来るように設置している。	
	④⑦	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	札幌地区で委員会を発足し定期的に、注意喚起を行っている。	
	④⑧	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	0	現在必要としているお子さんはいらっしゃらないが、対象となるお子さんがおいた場合は、事前協議と計画立てをし、行っています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2023 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌北 24 条校 保護者等数（児童数）：5 名 回収数：5 名

割合：100 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3	2	0	0	・足が不自由で車椅子移動させて頂いて助かっています。・広い方がいいが個別なので問題ないと思う。	いつも保護者様からアドバイスを頂きながら支援させていただいています。
	②	職員の配置数や専門性にお適切であるか	3	2	0	0	・小集団イベントでも手厚く見て頂いています。・専門性については分からない。	・手薄にならないよう定員人数に配慮して今後も行って参ります。・専門性については、定例研修もありますので日々研鑽できればと思います。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や静寂伝達等への配慮が適切になされているか	4	1	0	0	・絵本をわかりやすく配置して頂いていて、障がいに対する理解をして頂いている。・分かりやすくなっていると思う。	お子さんが不安にならないように今後も配慮していきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3	2	0	0	いつも換気されていて、清潔感もあります。	感染予防や清潔感が保てるように心がけていきます。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	5	0	0	0	・こどものペースを理解して頂いて、その時にあった計画をして頂いている。・普段の療育と保護者との面談の上で作成して頂いています。	・保護者様のニーズや思いを大切にしながら、ご本人の発達を見極め必要な支援を心がけていきます。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	0	0	0	・こどもの支援に必要な事をわかりやすく説明してもらっている。・丁寧に書かれています。	・今後もガイドラインを参考にご本人の発達のアセスメントを支援会議や普段の情報交換をしながら確認しながら作成していきます。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	1	0	0	わかりやすく取り組んでもらっています。	常に支援計画書を意識しながら目的を持った支援になるよう努めます。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	5	0	0	0	・こどもの好みを入れて工夫して頂いている。・最後	今後もご本人の情緒の安定を視野に入れたから、次にまた来たいと

							の時間は好きなことをさせて過ごさせてあげています。	思っているように工夫しながら、支援させていただきます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	1	0	1	イベントでは他のお子さんとの活動があるので幼稚園などの交流はなくてもいい。	保護者様のニーズに合わせて取り組みます。
保 護 者 へ の 説 明 等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5	0	0	0	契約時に説明してもらっています。	質問があれば即時対応させていただきます、今後も契約時の説明を行います。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	4	1	0	0	詳しく説明して頂いたり、分かりやすい言葉で説明してもらっている。	今後も保護者様が理解できる説明を心がけます。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	3	0	0	2	・どうしてものかアドバイスを頂いています。・あるかもしれないが分からない。	大々的に開催していないが、保護者様同士が繋がりあるように、橋渡しをしています。コロナが落ち着いた時には、茶話会の開催を考えていきたいと思っています。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	5	0	0	0	・常に話し合っている。・送迎時、話してもらっている。	・今後もお声がけしていきます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	0	0	0	・上記、同様に相談させていっています。・面談や送迎の時に話しています。	・今後も保護者様の気持ちに寄り添えるようにしていきます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	0	1	3	・イベントの時に友達になったお母さんと交流はあるが、父母会はない。	・コロナ禍もあり、容易に開催できていません。保護者様のニーズに答えられる様に考えていきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	4	0	0	1	・肢体不自由な中、一緒に楽しめる喜び、対応等して頂いています。・相談する。・次の支援から入れて頂いています。	保護者様からのお話は、すぐにスタッフにも周知するようにしています。今後もそのように努めていきます。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5	0	0	0	・情報伝達の為の配慮をして頂いています。・連絡帳や送迎時のお話をもらっている。	今後もお子様の日々の様子をお聞きしながら支援させていただきます。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4	1	0	0	・クラ・ゼミ通信などを通して、活動内容を再確認しています。・お手紙が貰われたり、掲示してある。	・今後も通信やブログを通じて発信していきます。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	4	0	0	1	注意して頂いている。	今後も個人情報の取り扱いには注意していきます。
非 常 時 等 の 対 応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	5	0	0	0	説明を受けています。	契約時の説明と、掲示物の中に冊子にして設置させて頂いています。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	0	0	1	・まだ、参加したことがありません。	・今後、どのような特性をお持ちでも対応できるように訓練を行っていきます。

満足度	②	子どもは通所を楽しみにしているか	5	0	0	0	・お友達ができ、毎回楽しく通所しています。・嫌がることはありません。	・今後もお子さんが積極的に通所できるよう活動の内容を考えていきます。
	③	事業所の支援に満足しているか	4	1	0	0	・相談しやすい環境や、子どものペースを大事にしてくださり、満足しています。	・今後もいろいろな面で満足していただけるようスタッフ一同、頑張ります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。